

「みなとオアシスくだまつ☆笠戸島」登録証交付式を開催しました

○「みなとオアシス」とは、地域住民の交流や観光の振興を通じた地域活性化に資する「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、住民参加による地域振興の取組みが継続的に行われる施設を、国土交通省港湾局長が登録する制度です。

○この度「みなとオアシスくだまつ☆笠戸島」(山口県下松市(くだまつ))を、中国地方では24箇所目(全国で131箇所目)のみなとオアシスとして登録し、笠戸島マリニカダレース大会実行委員会が主催する「第30回くだまつ笠戸島マリニカダレース大会」の開会式に併せて、「みなとオアシスくだまつ☆笠戸島」登録証交付式を開催しました。

○「みなとオアシスくだまつ☆笠戸島」は、代表施設「国民宿舎大城(おおじょう)」等において、地域住民の交流促進や地域の魅力向上につながる取組みを行います。



みなとオアシス
くだまつ☆笠戸島
Minato-Oasis
Kudamatsu☆Kasadojima

Minato-Oasis
Kudamatsu☆Kasadojima

開催概要

【開催日】令和元年8月25日(日)

【場所】はなぐり海水浴場(山口県下松市笠戸島)

【主催】下松市

【次第】(1)登録証交付者挨拶 (2)登録証交付
(3)「みなとオアシスくだまつ☆笠戸島」代表者謝辞(4)記念撮影



国井 下松市長
(謝辞)



喜安 中国地整副局長
(交付者挨拶)



登録証交付
喜安中国地整副局長(右)から
国井下松市長(左)へ



記念撮影
左から上村笠戸島マリニカダレース大会実行委員会代表、
国井下松市長、喜安中国地整副局長、近藤中国地整宇部港・空所長



第30回くだまつ笠戸島マリニカダレース大会の様子



「みなとオアシス」の概要

みなとオアシス所在港湾の一覧

○みなとオアシスとは

- ・地域住民の交流や観光の振興を通じた地域の活性化に資する「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、平成15年に制度を設立
- ・国土交通省港湾局長が住民参加による地域振興の取り組みが継続的に行われる施設を登録するもの

○みなとオアシスの担う役割

- ・地域住民、観光客、クルーズ旅客等の交流及び休憩
- ・地域の観光及び交通に関する情報提供
- ・その他（災害時の支援、商業機能 など）

○みなとオアシスの構成施設

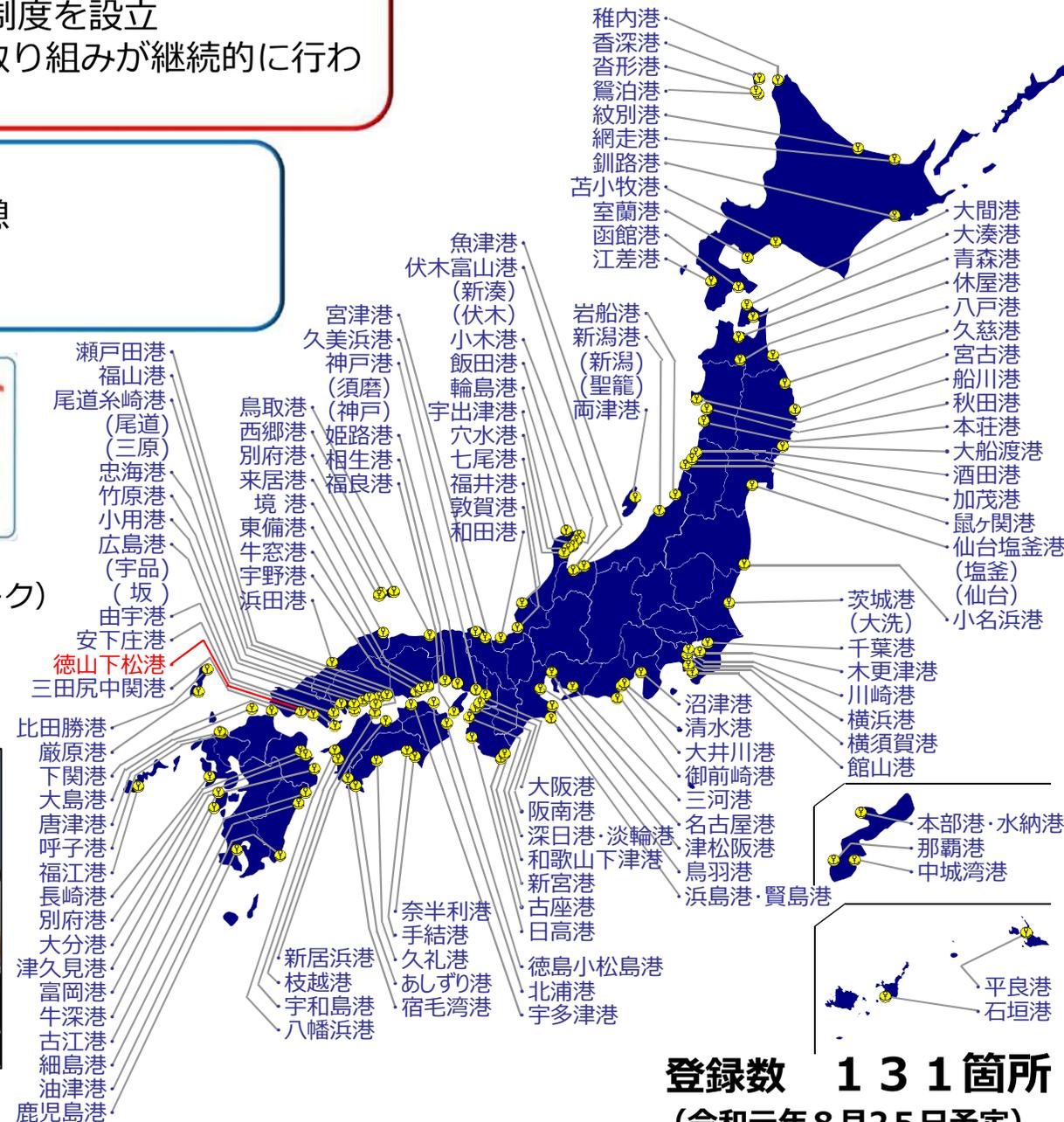
- ・旅客ターミナル
- ・地元産品の物販飲食店
- ・文化交流施設 など



標章
(シンボルマーク)

○みなとオアシスの設置者・運営者

- ・地方公共団体（港湾管理者含む）
- ・NPO団体、協議会 など



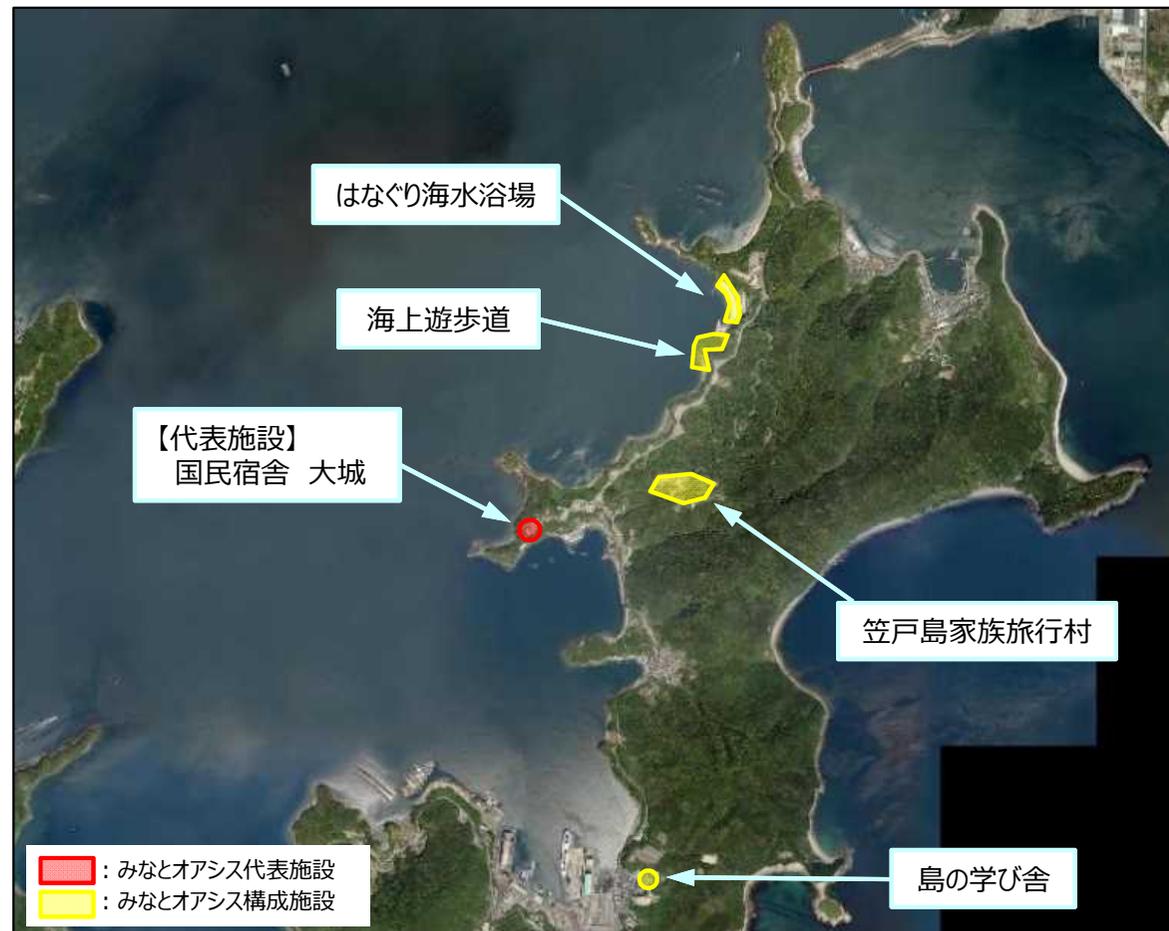
構成施設のイメージ



地域振興イベントの開催状況



国土地理院地図（電子国土Web）(<http://maps.gsi.go.jp>)をもとに国土交通省作成



【基本情報】	
設置者	下松市
運営者	下松市
所在港湾	徳山下松港【国際拠点港湾】
港湾管理者	山口県
登録日	令和元年8月25日（港湾局長）

【代表施設】



国民宿舎 大城

【主なイベント】



笠戸島まつり



マリンイカダレース



アイランドトレイル

みなとオアシスくだまつ☆笠戸島の伝説と魅力

「星降るまち」 くだまつ

下松の地名には、星に関する由来があります。推古天皇の頃（西暦595年頃）鷲頭庄青柳浦の松に大星が降り、7日7夜の間光輝き「百済の皇子がこの地へやって来る」というお告げがされたという伝説が残っており、「星が降（くだ）った松」が「降り松」となり、「下松」となったといわれています。

また、その伝説に関連しているかのように、三年後に百済の琳聖太子が渡来し、以来、百済との交易が開けたということから、百済と交易する津「百済津」がなまって「くだまつ」となったという説もあります。



推古天皇の頃の松の子孫
鼎(かなえ)の松



「下松発祥の地、七星降臨鼎(かなえ)の松」という文字を刻んだ石碑

豊かな自然に恵まれた風光明媚な島「笠戸島」

『笠戸島』は、星降る伝説のある下松市の南西部に位置し、三日月の形をした島で、瀬戸内海国立公園に含まれます。本州から鮮やかな赤色の笠戸大橋を渡り、森林を縫って海岸線の道を行くと、瀬戸内海を望む美しい海岸風景が現れます。同時に島の形状から入り江が多いことからゴツゴツした迫力のある岩肌も感じることができ、身近に大自然を感じられる観光スポットとしても魅力的な島です。



「みなとオアシス くだまつ☆笠戸島」の由来

みなとオアシス登録地の名称である『みなとオアシス くだまつ☆笠戸島』に、『☆』が入っているのは、星降る伝説にちなんで付けたものです。

なお、みなとオアシス登録地の名称で『☆』が入るのは、『くだまつ☆笠戸島』だけであり、全国初の事例です。

みなとオアシスくだまつ☆笠戸島の観光スポットとグルメ！

代表施設 国民宿舎 大城（おおじょう）



島の中心部である笠戸湾を見渡す岬の高台にあり、客室や展望露天風呂からは瀬戸内海の多島美や沈む夕日を眺めることができます。

構成施設 笠戸島家族旅行村



標高150mから笠戸湾を見渡せる丘の上で、眺望を楽しみながらケビンでの宿泊、オートキャンプ、バーベキュー、足湯など、家族で楽しめる施設です。

構成施設 はなぐり海水浴場・海上遊歩道



はなぐり海水浴場では、夏に手作りイカダで競い合う、マリンイカダレース大会が開催され、島全体が大きな盛り上がりを見せます！



「はなぐり海水浴場」の南側に位置し、潮風に吹かれながら散歩ができる全長300mの海上遊歩道。海に乗り出した突堤では釣りが楽しめます！

構成施設 島の学び舎



廃校となった江の浦小学校の校舎の一部を活用し開設しています。埋蔵文化財や歴史民俗資料、民具等を展示収蔵し、下松市の歴史や文化を知ることができます！

笠戸島の名産「笠戸ヒラメ」

地元で養殖される「笠戸ヒラメ」は、肉厚で脂がのり、ほのかな甘みが特徴の、ふぐに匹敵する下松自慢の高級食材です。温暖な気候と良質な水により育てられた笠戸ヒラメは、身が引き締まり、コリコリとした歯触りが堪能できます！



交通アクセス

みなとオアシスくだまつ☆笠戸島の代表施設である「大城」は、JR下松駅から約8kmの距離にあり、バス、車でお越しいただけます。

- 福岡方面から車によりお越しの場合
中国自動車道、山口JCT経由で山陽自動車道 徳山東IC下車
(徳山東ICより約12km・約20分)
- 広島方面より車によりお越しの場合
山陽自動車道 熊毛IC下車 (熊毛ICより約20km・約30分)
- JR下松駅からバスによりお越しの場合
<JR徳山駅からJR下松駅>
山陽本線「JR徳山駅」乗車、「JR下松駅」下車
料金(片道)：200円 (JR徳山駅より2駅・約8分)
<JR下松駅よりバス>
JR下松駅 防長バス笠戸島線乗車、「国民宿舎前」下車
料金(片道)：420円 (約20分)



周辺の宿泊情報

国民宿舎「大城」を始めとした宿泊施設をご紹介します。
【下松市観光協会】
電話：0833-45-1841 <https://kudamatsu-kanko.jp/>

観光案内の問合せ先

【下松市観光協会】
電話：0833-45-1841 <https://kudamatsu-kanko.jp/>
【下松市 経済部 産業観光課】
電話：0833-45-1849 <http://www.city.kudamatsu.lg.jp/kankou/>